

大和市教育委員会 9 月定例会

日 時 令和6年9月27日

午前10時00分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会議時間の決定

3 会議録署名委員の決定

4 教育長の報告

5 議 事

日程第1（議案第28号） 令和7年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

日程第2（議案第29号） 保有個人情報一部開示決定に係る審査請求に対する裁決について

6 そ の 他

7 閉 会

（１）前月定例会以降の動き

- | | | |
|------------------------|---------|---------------|
| 1. 大和市青少年健全育成大会表彰選考委員会 | 8/20（火） | 大和市役所 第 6 会議室 |
| 2. 学校給食調理従事者研修会 | 8/21（水） | 保健福祉センター |
| 3. 大和市総合教育会議 | 8/26（月） | 大和市役所 研修室 |

（２）令和 6 年大和市議会第 3 回定例会日程

- ・本 会 議 初 日 8/29（木） 一般質問 9/18（水）・19（木）・20（金）
最終日 9/26（木）
- ・委 員 会 文教市民経済常任委員会 9/ 3（火） 厚生常任委員会 9/ 4（水）

○ 一般質問の概要

- ① 堀口 議員 ・学校における暑さ対策について ・中学生の制服について
- ② 堀合 議員 ・新型コロナウイルス対策を振り返る
- ③ 布瀬 議員 ・学校と地域との連携について
- ④ 町田浩 議員 ・子どもの虫歯予防について
- ⑤ 北島 議員 ・特別支援学級に係るサポートについて
- ⑥ 金原 議員 ・児童生徒ファーストとこども基本法について
- ⑦ 小倉 議員 ・学校の固定遊具について
- ⑧ 河端 議員 ・男女共同参画の推進について

（３）次月定例会までの予定

- | | | |
|------------------------|----------|--------------------|
| 1. 大和市青少年問題協議会 | 10/ 3（木） | 大和市役所 研修室 |
| 2. 大和市戦没者追悼式 | 10/ 4（金） | 保健福祉センター |
| 3. 県央教育事務所管内教育長会議 | 10/ 4（金） | 座間市役所 |
| 4. 桜丘スポーツ交流祭 | 10/ 6（日） | 桜丘小学校 |
| 5. 小中校長会議 | 10/ 7（月） | 大和市役所 全員協議会室 |
| 6. 第 31 回大和市野球選手権大会開会式 | 10/12（土） | 大和スタジアム |
| 7. 大和市青少年発明くふう展表彰式 | 10/12（土） | 文化創造拠点シリウス |
| 8. つきみ野中学校校内研究発表会 | 10/18（金） | つきみ野中学校 |
| 9. 美術講演会 | 10/21（月） | 文化創造拠点シリウス |
| 10. 神奈川県都市教育長協議会臨時総会 | 10/24（木） | えびなこどもセンター 201 会議室 |

議案第 28 号

令和 7 年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について

令和 7 年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針について、審議願いたく提案する。

令和 6 年 9 月 27 日提出

大和市教育委員会

教育長 柿 本 隆 夫

令和7年度大和市公立学校県費負担教職員人事異動方針

大和市教育委員会

大和市教育委員会は、学校の組織としての能力を高めるとともに、教職員の意欲と専門性の向上を図るため、また、教職員の世代交代が円滑に進むよう、人事異動にあたっては、次の事項を基本方針とし、関係機関の協力のもとに教職員の適正な配置に努めるものとする。

【基本方針】

1. 組織力の向上を図る。

本市教育の活性化を図り、多様な教育課題に対応し、教育効果を高めるため、積極的に転任及び配置換えを行い、教職員組織の充実と均衡化に努め、魅力ある学校づくりの推進と学校の組織力の向上を図る。

2. 人材育成を推進する。

世代交代が進み、教職員の年齢構成等が変わりつつある中、全市的な視野に立った人事異動により、一人ひとりの教職員が多様な経験を積み、組織内での自らの役割を意識し、意欲的に力を発揮できるよう、人材育成を推進する。

令和6年度教職員人事概要

◎ 令和6年5月1日現在の教職員数（定数）

小学校：743人

中学校：383人 計 1,126人

1. 総括教諭・教諭の男女・年齢別【正規職員のみ（産休・育休者含む）】（令和6年5月1日現在）

年齢		30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～61歳	計	男女の比率
小学校	男	55	107	60	11	233	38.9%
	女	92	157	85	32	366	61.1%
	計	147	264	145	43	599	100.0%
	率	24.5%	44.1%	24.2%	7.2%	100.0%	—
中学校	男	35	58	42	8	143	54.2%
	女	33	51	21	16	121	45.8%
	計	68	109	63	24	264	100.0%
	率	25.7%	41.3%	23.9%	9.1%	100.0%	—

※再任用は含まない。

2. 同一校多年勤務者数（総括教諭・教諭）（令和7年3月31日見込）

	10年以上	9年	8年	計	割合
小学校	6	11	28	45人	7.5%
中学校	6	8	18	32人	12.1%

3. 令和5年度末異動状況（教職員）

		小学校	中学校	計
辞職		18	13	31
転出	県内	3	0	7
	県外	4	0	
管理職異動		13	9	22
市内配置換		69	34	103
転入		8	6	14
新採用	男	13	8	47
	女	19	7	
計		147	77	224

4. 新採用教職員数の推移（教諭、養護教諭、事務職員、栄養職員を含む）

年度	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
小学校	48	44	29	30	36	37	40	36	38	23	27	32
中学校	19	18	13	13	15	22	19	16	17	13	12	15
計	67	62	42	43	51	59	59	52	55	36	39	47

5. 再任用教職員数の推移

年 度		2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	R 1	2	3	4	5	6
小 学 校	教 諭	4 0	4 2	3 3	2 8	2 5	2 2	2 4	2 3	2 1	1 4	1 7	7
	養護教諭	0	0	0	0	2	2	0	0	2	1	2	0
	栄養職員	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	事務職員	0	3	4	6	4	3	2	2	1	2	1	0
中 学 校	教 諭	2 8	2 5	2 0	2 3	2 0	1 7	2 2	2 6	3 1	2 7	3 0	2 3
	養護教諭	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1
	栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務職員	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0	1
合 計		6 9	7 0	5 7	5 8	5 2	4 7	5 1	5 4	5 7	5 1	4 5	3 2

6. 児童・生徒・教職員数等の推移

(各年度 5月1日現在)

年度	小 学 校				中 学 校			
	学校数 (校)	児童数 (人)	学級数 (C)	教職員 数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	学級数 (C)	教職員 数 (人)
2 5	1 9	11,534	422	650	9	5,733	184	373
2 6	1 9	11,504	424	658	9	5,587	177	365
2 7	1 9	11,628	435	659	9	5,517	175	360
2 8	1 9	11,618	434	663	9	5,467	174	356
2 9	1 9	11,729	440	664	9	5,432	175	363
3 0	1 9	11,880	445	678	9	5,305	176	359
1	1 9	11,799	446	695	9	5,338	177	365
2	1 9	11,926	458	708	9	5,359	183	369
3	1 9	11,777	459	719	9	5,571	188	376
4	1 9	11,797	466	726	9	5,600	190	380
5	1 9	11,778	474	745	9	5,669	190	382
6	1 9	11,721	481	743	9	5,577	189	383

7. 令和6年度学年別児童・生徒数

(令和6年5月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
小学校	1,847	1,844	1,869	1,854	1,907	1,815	585	11,721
中学校	1,783	1,787	1,796				211	5,577

議案第 29 号

保有個人情報一部開示決定に係る審査請求に対する裁決について

保有個人情報一部開示決定に係る審査請求について、裁決願いたく提案する。

令和 6 年 9 月 27 日提出

大和市教育委員会

教育長 柿 本 隆 夫

大和市学校教育基本計画に基づく学校評価アンケート

その他報告

令和6年9月27日

学校評価の目的

- ☐ 学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ☐ 学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ☐ 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保证し、その向上を図ること。

令和5年度学校評価アンケート結果

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 1	子ども一人ひとりの学びを保障し、確かな学力を育てます	1 基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用を重視した教育を推進します	・少人数学級、少人数(TT)指導 ・SA、学習支援ボランティアの活用 ・授業改善	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	6 13 0 0	7 2 0 0	少人数指導やSAの活用等により、きめ細やかな指導ができ、基礎的な知識技能の習得について、一定程度の成果が出ている。また、放課後寺子屋との連携により個別指導や的確な教材提供につながっている。一人一台端末の適切な活用も含め、個別最適な学習につながるような授業改善を図る必要がある。
		2 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善し、質の高い学びを実現する取り組みを推進します	・指導と評価の一体化 ・校内研究 ・ICT機器の活用 ・調べる学習(探究的活動) ・学習における新聞の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	14 5 0 0	5 4 0 0	校内研究を中心に授業研究を行い、授業力の向上に努めている学校が多く、「主体的・対話的で深い学び」を学習過程とした授業展開がなされていた。また、ICT機器の活用方法について教職員同士が情報共有し、有効活用が進んでおり、児童生徒自身が一人一台端末の有効性を感じて活用している様子が見られている。
		3 学習に対して困難をかかえる子どもに適した教育を推進します	・外国人児童生徒に対する支援 ・(特別)支援教育 ・児童支援中核教諭 ・SC、SSW、相談員	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	9 0 0 0	各学校において、児童生徒の個々の状況を丁寧に把握し、全教職員で情報共有、支援方法を検討する時間を定期的に設けており、状況に応じて、関係機関と連携しながら、適切な学習支援体制を取ることができている。また、児童生徒の教育的ニーズに応じた専門的な支援も行っている学校が多かった。
		4 今日的な教育課題に対応した授業に向けて研究・研修を深めます	・校内研修 ・プログラミング教育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	6 3 0 0	各校、講師招聘や指導主事による訪問研修、オンライン学習会等を実施し、よりよい教育活動の取組に向け研修を行った。長期休業期間を活用し、教職員同士の情報交換の場を設定し、必要な知識やスキルを共有している学校も見られた。プログラミング教室の開催により、児童生徒はもとより、家庭でも興味をもって取り組むようになった。
		5 学びを支える教育環境整備を進めます	・教材、教具の工夫(ICT機器含む) ・校務支援システムの活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	7 2 0 0	一人一台端末の活用が進み、児童生徒一人一人に応じた学習環境を整えることができている。ICT機器を活用することで、視覚的に分かりやすい授業を展開することができている。スタディサプリを導入したことで、児童生徒が自分のタイミングで学ぶことができ、より個別最適な学びにつながっている。校内支援システムの有効な活用環境を整え、安定した活用ができた。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 2	様々な体験を通し、豊かな感性を育みます	1 想像力を豊かにする読書活動を推進します	・読書活動 ・朝読書、読み聞かせ ・学校図書館の活用 ・図書館教育の推進	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	5 4 0 0	朝読書を行うことで、落ち着いた学習環境を整えることができています。担当教諭と学校司書が連携し、選書や図書館のレイアウトを工夫することで、本に興味・関心を持つ児童生徒が増え、読書活動につながっている。また、調べ学習において、書籍とデジタル教材を併用することで、情報を活用し表現する力の育成にもつながりつつある。
		2 感受性を育て、表現する力を養う教育を推進します	・芸術鑑賞 ・福祉体験 ・日本の伝統文化に触れる授業 ・給食時間を活用したコミュニケーション	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 11 1 0	3 6 0 0	芸術鑑賞では、オーケストラやバレエ団等の演奏や演技を生で鑑賞し、児童生徒の表情や感想から本物を感じることの大切さを実感した。 地域の方の力をかりて伝統文化の体験活動を実施している学校もある。 給食時間にランチルーム等を活用し、コミュニケーションを育む環境が徐々に整いつつある。
		3 様々な体験学習の機会を提供します	・体験活動 ・キャリア教育 ・職場体験、職業講話等 ・自然体験学習	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	11 6 2 0	5 4 0 0	各学校が社会見学や体験学習等を実施し、児童生徒が主体的に考え、意欲的に活動する様子が見られた。地域との交流も再開され、児童生徒が地域学習に参加し、地域の一員であることを実感できた。職場体験では、自分の将来や社会との関わりの必要性を実感しており、今後も継続していきたい。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 3	安心安全な環境を整え、健康な心身を育てます	1 心身ともに健康に生活を送るための、健康教育を推進します	・健康の保持増進 ・体力、運動能力の向上 ・教員が子どもと向き合う活動 ・教育相談	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	9 10 0 0	6 3 0 0	体育・保健体育の授業を中心に、体力、運動能力の向上に努めた。また、休み時間等を活用したレクリエーションや児童生徒が主体となり企画したスポーツ大会などを実施した。日常の児童生徒の変化を見逃すことがないよう授業中や休み時間の観察や言葉かけを行うとともに、アンケートや教育相談も実施した。
		2 健康な心身のための、食育を推進します	・食育	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	4 15 0 0	2 7 0 0	給食指導や教科指導で「食」の大切さについて、学びの機会を確保している。委員会活動や給食時間の放送を通じ、児童生徒が「食」への関心を高めるような取り組みを実施していた。栄養教諭等の専門的見地から、栄養の働きやバランスのよい食事について授業を実施できるよう食育ネットワークを活用している学校があった。
		3 命を守る、安全教育を推進します	・命の授業 ・安全・防災教育 ・情報モラル教育 ・登下校の安全、パトロール ・PSメール ・防災計画の改善	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	10 9 0 0	4 5 0 0	各学校において、学校防災マニュアルの見直しを行い、様々な災害を想定し、年間を通して訓練を実施した。また、道徳や特別活動の時間をはじめ、教育活動全体を通じて「いのちの大切さ」について学んでいた。学校PSメールで、効果的な情報発信に努めた。地域のボランティアとも連携を図り、登下校時の児童生徒の安全を確保した。
		4 安全安心で、子どもが落ち着いて学べる学校の環境づくりを進めます	・教室環境の整備・美化 ・学校施設の維持管理 ・学校安全計画、危機管理マニュアル	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	5 14 0 0	4 5 0 0	各学校において、学校安全計画を定期的に見直し、実際に活用できる計画を策定した。教職員による学校施設の定期的な安全点検を行い、教室環境の整備、施設の維持に努めた。熱中症対策ガイドラインを教職員で共通認識し、適切な対応に努めた。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

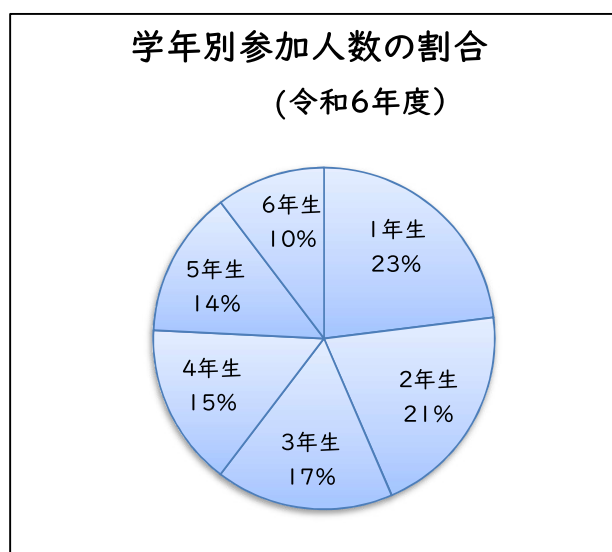
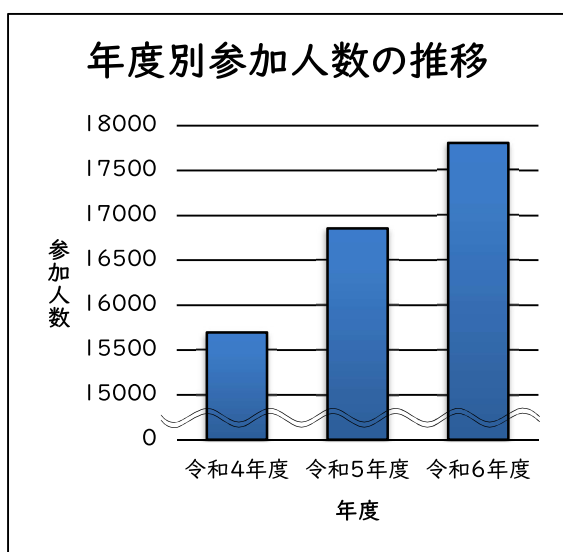
基本目標		施策の方向	具体的な内容例	評価	小	中	指導室 分析
基本目標 4	多様性を尊重し、他者とともに生きる社会性を育てます	1 いじめのない学校生活に向けた取り組みを進めます	・いじめ対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	8 1 0 0	各学校の「いじめ防止基本方針」に基づき、児童支援中核教諭・生徒指導担当教諭を中心に、職員の共通理解を図っていた。また、関係機関等と連携しながら、学校全体で組織的な対応を行った。道徳や特別活動の時間に、「いじめ防止に向けた」学習に取り組んでいた。
		2 不登校のない、だれもが通いたくなる学校作りを進めます	・不登校対策	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	8 11 0 0	5 3 1 0	職員会議等で児童生徒の情報交換を行い、不登校の未然防止、早期対応に努めていた。また、不登校状態の児童生徒に対しては、家庭と連携を取り、家庭訪問や別室登校等、個別の対応を行っていた。不登校対応への教育的ニーズが多岐にわたっており、各学校の指導・対応の向上を図る必要がある。
		3 社会性を育む道徳教育を推進します	・異学年交流等による社会性の育成 ・道徳教育 ・人権教育 ・教員の人権意識の向上	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	6 3 0 0	計画的に異学年交流を実施し、児童生徒の社会性を育むことができていた。道徳科の授業を中心に道徳教育・人権教育が推進されていた。教員への人権意識については、研修やリーフレットでの情報提供を通じて向上を図った。挨拶を積極的に行えるよう、挨拶運動を計画実施している学校が多く見られた。
		4 社会に開かれた学校教育を推進します	・地域の施設等訪問、ボランティア活動 ・学校評価 ・学校評議員会 ・ホームページ、学校便り ・地域人材力の活用	A・・・ B・・・ C・・・ D・・・	7 12 0 0	2 7 0 0	学校評議員や学校運営協議会を開催することができ、学校行事や意見交換の場を設けることができた。地域の方の見守り活動や清掃活動によって児童生徒の安全対策の支えとなった。児童生徒が地域の行事に参加することによって、地域貢献への意識が芽生えつつある学校もあった。 学校評価アンケートの回答を電子化することで、回答率が低くなる傾向が見られた。

※各学校の自己評価 A:達成できた、B:おおむね達成できた、C:達成に及ばなかった、D:課題がある

「令和6年度 夏休み寺子屋やまと」について

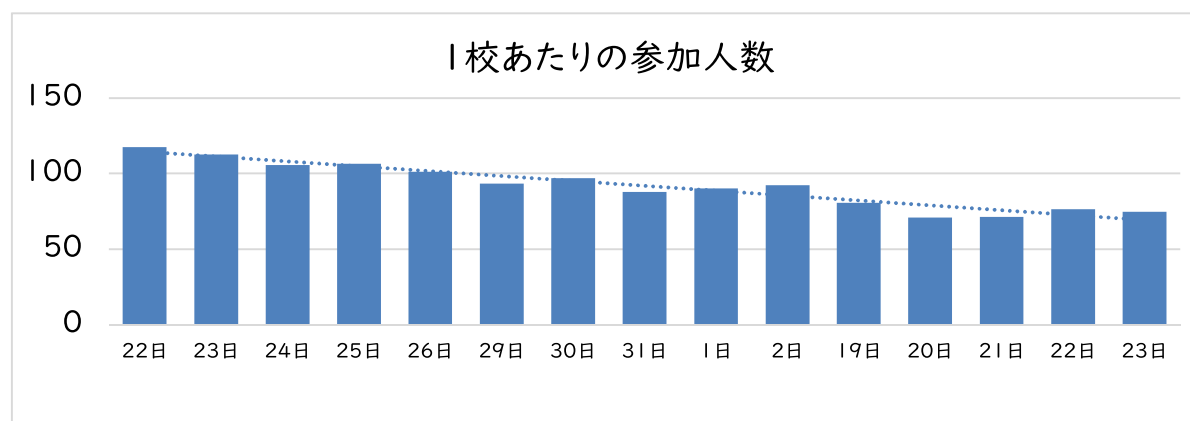
(1) 児童参加人数(のべ人数)

単位:人	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
令和4年度	3,490	3,206	3,028	2,514	1,899	1,558	15,695
令和5年度	4,034	3,438	2,932	2,718	2,113	1,621	16,856
令和6年度	4,102	3,647	3,001	2,744	2,472	1,841	17,807



(2) 開催日別参加人数(のべ人数)

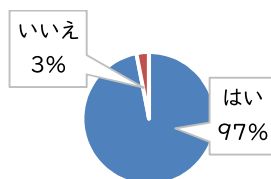
7月	22(月)	23(火)	24(水)	25(木)	26(金)	29(月)	30(火)	31(水)	
実施校数	13	18	16	17	16	17	17	7	
人数(人)	1,530	2,028	1,692	1,812	1,621	1,589	1,647	615	
8月	1(木)	2(金)	19(月)	20(火)	21(水)	22(木)	23(金)		
実施校数	7	4	2	12	16	16	12		
人数(人)	632	369	161	851	1,141	1,220	897		



「令和6年度 夏休み寺子屋やまと」児童からのアンケート

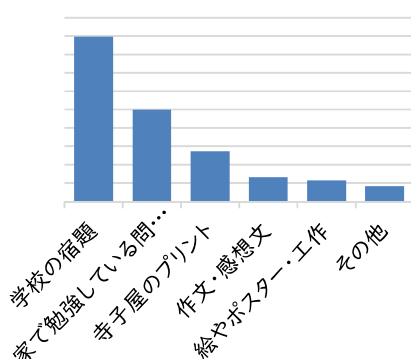
(1) 夏休み寺子屋やまtoに来てよかったですか。

はい	1,863
いいえ	58



(2) 夏休み寺子屋やまtoでどんな勉強をしましたか。(複数回答)

学校の宿題	1,794
家で勉強している問題集など	1,002
寺子屋のプリント	547
作文・感想文	263
絵やポスター・工作	230
その他	170

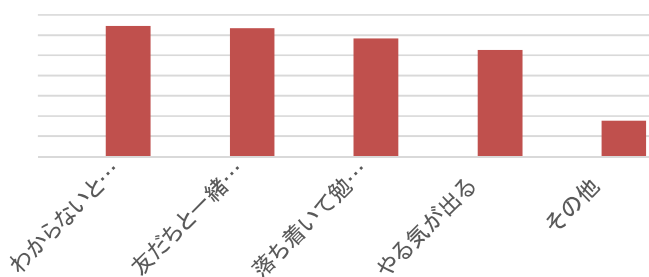


<その他(内容)>

- ・漢字練習
- ・習字
- ・読書
- ・自主学習
- ・英語ドリル
- ・寺子屋検定
- ・カタカナ
- ・塾の宿題
- ・クロームブック
- ・ピアノの読譜
- ・ことわざ 四字熟語
- ・都道府県の学習
- ・自由研究
- ・読解プリント
- ・プログラミング
- ・スタディサプリ
- ・日記や絵日記
- ・調べ学習
- ・そろばん
- ・ことばの教室の宿題 等

(3) 夏休み寺子屋やまtoのいいところはどんなところですか。(複数回答)

わからないところを先生や友だちに教えてもらえる	1,289
友だちと一緒に勉強できる	1,270
落ち着いて勉強できる	1,165
やる気が出る	1,053
その他	355



<その他(理由)>

- ・先生が心をこめて優しく教えてくれる
- ・夏休みでも勉強する習慣がつく
- ・手を挙げると先生がすぐ来てくれる
- ・一人でも長い時間しっかり勉強できる
- ・図書館で本を読んだり調べたりできる
- ・いろいろな知識を教えてくれる
- ・ポスターづくりが広い机でやれる
- ・先生と一対一で勉強できた
- ・うるさい人にはきちんと注意してくれる
- ・自分のペースで取り組める
- ・先生の説明が上手でわかりやすい
- ・色々なプリントがあり、沢山勉強できる
- ・楽しく勉強を教えてくれる
- ・友だちみんなで勉強できる
- ・家でできない習字の宿題ができる
- ・本をたくさん読むことができる
- ・読書感想文のコツを教えてもらった
- ・友だちと助け合って勉強できる
- ・先生がかわいい(高校生・実習生)
- ・学校で勉強できるから落ち着く
- ・習っていない単元ができる
- ・冷房が効いていて涼しい
- ・辞書や辞典がかりられる
- ・静かに計画的に勉強できる
- ・クロームブックも使える
- ・折り紙を教えてもらえる
- ・夏休みに友だちと会える
- ・休憩もあって集中できる
- ・学校の先生も来てくれる
- ・学校より質問しやすい

令和6年度 夏休み中学校寺子屋やまとについて 報告

夏休み寺子屋やまと (中学校寺子屋学習支援コーディネーター・学習支援員が対応)

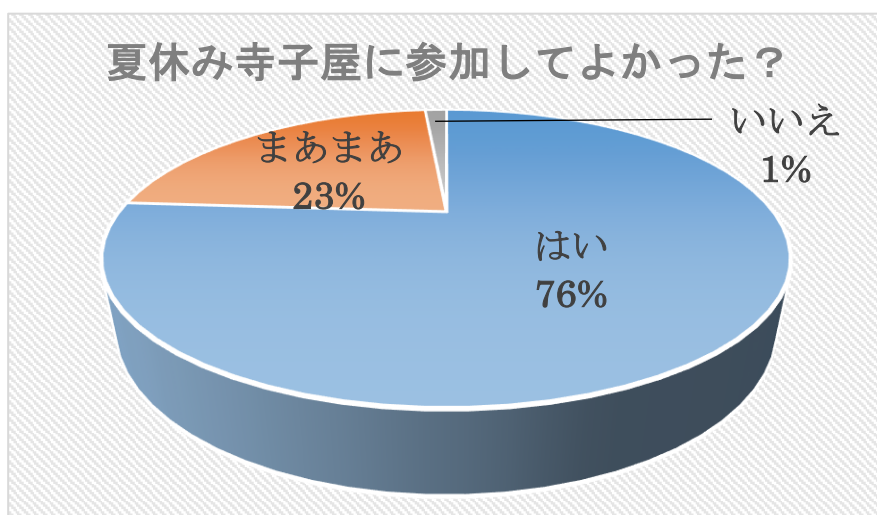
○日数 6～8日(各学校で設定)

○対象 全学年

○参加人数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年度	令和6年度
実人数	中止	475	516	806	637
延べ人数	中止	1768	1740	2071	2056

○参加した生徒のアンケートより



○参加した生徒の感想(一部)

- ・来年も参加したい。
- ・教材が豊富でよい。
- ・家よりも集中して取り組めた。
- ・次に来るのが楽しみになった。
- ・気楽に参加できる環境でよい。
- ・先生がわかりやすく丁寧に教えてよかった。優しくった。わからないところをすぐに教えてくれた。
- ・寺子屋は、先生に聞けるので宿題がはかどるので、続けてほしい。
- ・友達と教えあったり、先生に聞いたりできて、やる気になりました。
- ・家でも自然と勉強しようと思えるほど影響力があった。
- ・家では一人で学ぶのでそのままにしていたが、分からない所をすぐに聞けて良かった。
- ・集中して勉強でき、宿題が全部終わりました。ありがとうございました。
- ・家より集中できた。勉強がすごく進んだし、先生に教えてもらえたから良かった。
- ・静かで集中しやすかった。一人ひとりのペースで教えてくれたので分かりやすかった。
- ・先生が近いので安心感があった・友達と一緒に頑張れた。
- ・忘れていたところが分かるようになったり、苦手だったところもできるようになりました。
- ・ここなら何時間でも勉強できると思えた。
- ・こういう機会を得て勉強できるのはとてもいい。
- ・周りが勉強していると、それに影響されるという感じが良かった。
- ・今回の寺子屋で自分が今勉強すべきところを知るきっかけになったし、忘れていた文法や公式も思い出せました。

3年夏の学習会について(中学校学習支援少人数非常勤講師【英・数】が対応)

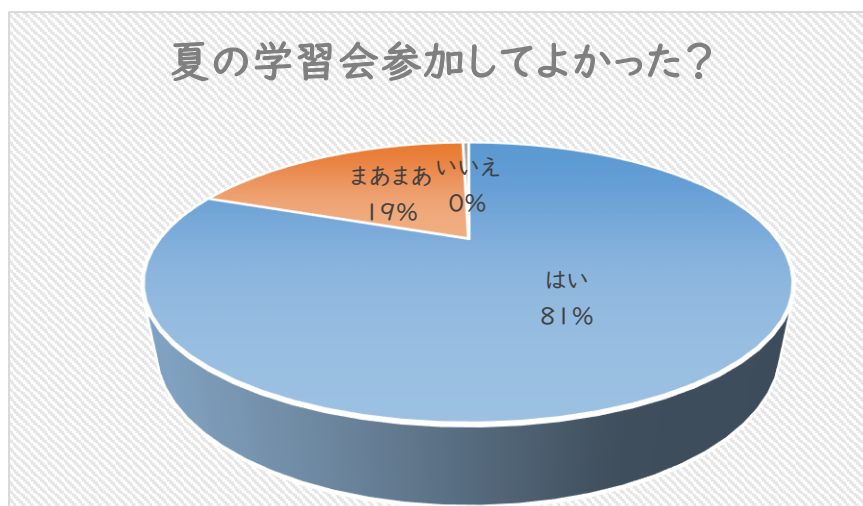
○日数 6～7日(各学校で設定)

○対象 3年生

○参加人数

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年度	令和6年度
実人数	中止	306	496	682	595
延べ人数	中止	2391	2304	2987	2448

○参加した生徒のアンケートより



○参加した生徒の感想(一部)

- ・受験勉強で何をしたらいいかわからない人でも夏休みの学習会で勉強ができて、いい機会だと思いました！
- ・普段あまり学習会等は参加していなかったのですが、今回参加したことで自分の現状をよく理解することができました。やはり継続して勉強をしていないと集中力がまったく上がらないので、今後も勉強する習慣をつけるようにしたいです。
- ・一人ひとりに合った進め方や、わからない時は丁寧に説明をしてくれたので、とても勉強に集中できた。
- ・寺子屋に来る前より問題が解けるようになった。
- ・わかりやすく勉強する気になった。勉強をもっとしたくなるような学習会だった。またやりたい。
- ・今までの復習を理解しながら思い出すことができた。単語のできなさを再確認できて、勉強しなければというあせりを持った。
- ・苦手だった単元(図形)が完璧にできるようになった。受験勉強に必ず役立てる！
- ・先生がとてもフレンドリーで質問しやすかった。
- ・分からないところを分かるまで教えてもらった。
- ・問題をたくさんもらったので、自宅学習で使っていく。
- ・静かで集中できてやりやすい。
- ・分からないところを丁寧に教えてもらったので、自分で解ける問題量が増えて嬉しかった。
- ・出来ないところを見つけることができ、出来るようになった。
- ・夏休みの前半では勉強することができなかったが、8月の初めにこのような寺子屋があると、集中して勉強することができ良かった。